

続33号『決して目線を下げてはいけない。』

お疲れ様です。

先月の手紙で、目標設定の大切さについて書きましたが、とても重要なことなので今月は別の考えから見た目標設定の大切さについて書いていきたいと思います。

何故目標を掲げることが大切なのか？その一つに目線があると思います。

下記の2つの言葉を見てください。

目的・・・ 的 このテキという字は訓読みすると「まと」ですよね。

目標・・・ 表 このヒョウという字は「しるべ」です。

しるべとはつまり、道しるべのこと。 あっちに向かえばあそこにいけるよ！と記されている物です。 まとはあながたどこに向かっているのかのゴール状態を示すものです。

これに目がつくのです。

目的は会社で言うと『経営理念』、お店で言うと『ストアビジョン』で、ラーメン事業部で言えば『一の誓い』です。 そして目標は『店舗予算』なのです。

目的のために目標を目指すのです。

全てに目という文字が付きますよね？

何故なのか？ スポーツに例えて考えてみたいと思います。

皆さん様々なスポーツをやったことがあると思いますが、僕も休みの日にはサーフィンをします。 しかしとてもへたくそなので、上手になりたいと思いよくYoutubeで上手な人たちの解説動画を見ます。 ここでも必ず言われるのが「目線」です。

波に乗る時、乗ったあと、カッコよくライディングしていきたいものですが、下半身の使い方を急に意識してしまい足元ばかり見た結果、はたから見るとめっちゃめっちゃカッコ悪いライディングになっている時がよくあります。 しかし、この時に自分の行きたいところを良く目線で追っていると自然と体もついていくのです。

自転車とかでもそうだと思います。手前ばかり見てるより、先を見た方がバランスを取

れてうまく進めます。

そうなんです。人は自分が見る目線の方にちゃんと進むようになっているのです。

このことはスポーツ以外でも同じことが言えます。どんな大変な現実にぶつかっても目標や目的を見失って、目線を下げてはいけません。目線を下げた瞬間、下がったその先に行ってしまうからです。

『諦めたらその時点で試合終了』という名言はつまりそういうことなのです。

なので、どんな状況下であっても自分の行きたい先を『目的』を見定め、ちょっと高めの『目標』を設定し、それに向かって目線を下げることができれば、会社や店舗は元より皆のやりたいことは必ず叶います。

まずは目の前の目標から、自分を信じて頑張ろう！

2020. 7. 1 松岡 保浩